

第3章

施策の推進状況

栃木県農業振興計画 2016–2020
「とちぎ農業“進化”躍動プラン」の概要

基本目標の現状評価【期末検証】

リーディング・プロジェクトの推進状況【期末検証】

- | | |
|---------|--------------------|
| プロジェクト1 | 新たな園芸生産の戦略的拡大 |
| プロジェクト2 | 国際化に対応した水田・畜産経営の確立 |
| プロジェクト3 | 農産物のブランド力強化と輸出促進 |
| プロジェクト4 | 次代を担う農業人材の確保 |
| プロジェクト5 | スマート農業とちぎへの挑戦 |
| プロジェクト6 | 農村資源を生かした地域の創生 |
| プロジェクト7 | 農の多彩な効用の発揮促進 |

栃木県農業振興計画 2021–2025
「とちぎ農業未来創生プラン」について

「とちぎ農業“進化”躍動プラン」の概要

1 目指すべき将来像

稼げる農業が展開され、棲みよい農村環境が整うことにより、子供たちに夢を与え、人を惹きつける魅力ある農業・農村が実現

2 計画の基本目標～成長産業として進化する農業・栃木～

- ◆農業の稼ぐ力〈生産農業所得〉* : 681億円(H26)→1,100億円
- ◆新たな活力 〈雇用就農含む新規就農者数〉: 1,420人/5年間(H27)→1,700人/5年間
- ◆地域の持続力〈担い手への農地集積率〉 : 43.3%(H26)→68.0%

※生産農業所得とは、農業産出額から物的経費を控除し、経営補助金等を加算したもの

3 リーディング・プロジェクト(重点的・戦略的な取組)

栃木の強みを伸ばす

- ▶新たな園芸生産の戦略的拡大
いちご等のトップレベル経営者の育成、新たな露地野菜の産地づくり など
- ▶国際化に対応した水田・畜産経営の確立
担い手への農地集積の加速化、集落営農の組織化・法人化、耕畜連携 など
- ▶農産物のブランド力強化と輸出促進
オリジナル品種の開発、とちぎ農産物輸出促進会議の設置 など

明日の農業を拓く

- ▶次代を担う農業人材の確保
県内外・農内外からの新規就農者の確保、女性農業者が輝く環境づくり など
- ▶スマート農業とちぎへの挑戦
ICTやロボット技術などの先端技術を活用した生産力の向上 など

農業・農村の価値を高める

- ▶農村資源を生かした地域の創生
農産物直売所の機能強化、多様な主体の参画による農村環境保全活動の活発化 など
- ▶農の多彩な効用の発揮促進
農業と福祉の連携強化、食育・地産地消、エコ農業を通じた生態系保全 など

4 地域計画

7つの農業振興事務所ごとに、地域独自の課題に対応する「地域戦略」を設定